

## シンガポール研修

芸術学科 4年

このシンガポール研修は教育がテーマだった。僕は専門ではなかったが日本と子供達にどんな違いがあるのか気になったので参加した。それからシンガポールはデザインでも面白い国だと聞いていたので行きたいと思っていた。

今回の研修では4つの学校を見てきた。改めて見ると凄いスケジュールだと思う。

### ・シンガポールの学校訪問について

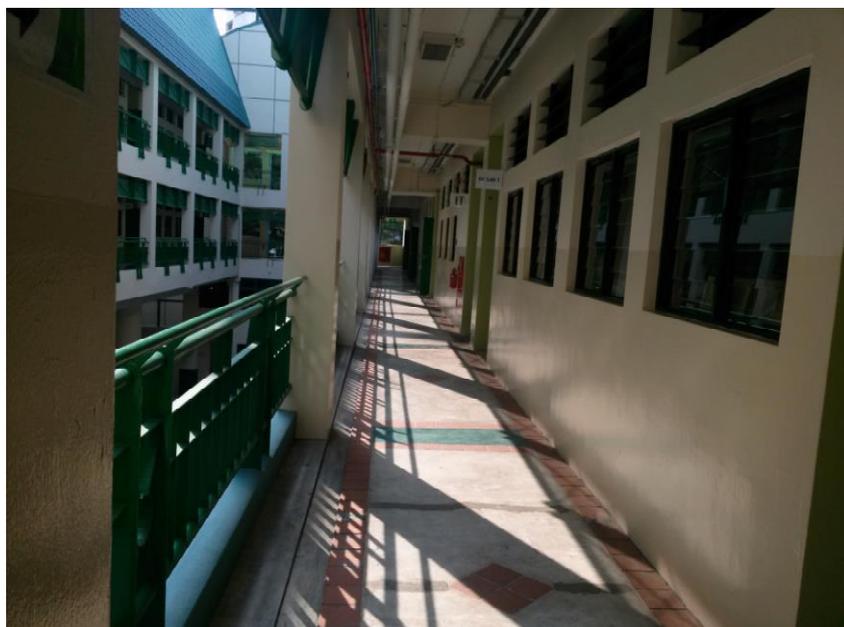
最初に行った **Marymount Convent School** は女子校で、日本では小学校にあたる。僕たちが行った時は朝の集会をしているところで、シンガポール人の心構えのような言葉がスクリーンに映され、国歌を歌ったりしていた。学校の授業の様子を見学させてもらった。僕が見たのは中国語の授業で子供たちがどんどん手をあげて先生と話をするように授業が進んでいくのが印象的だった。シンガポールは暑いので子供はみんな大きめの水筒を持ってきていて、机の上に筆箱と一緒に置いてあった。後ろの子供とおしゃべりをしていたり、自由な感じで授業に関係のある発言をする時も、日本の学校に通っていた時に感じた緊張感はなかった。ここで行く前から計画していた、折り紙をする交流会をした。子供達は飲み込みが早くてお互いに教え合ったりしていた。時間は短かったけど一緒に出来て楽しかった。

**Invictus International School** は、国際的なカリキュラムを参考にして授業をしている学校だった。国際的というのは、他の国にも同じカリキュラムを採用している学校があって、外国に引っ越しても同じように教育を受けられるということだ。特徴的だなと思ったことは、数学や科学などが科目ごとに分かれているのではなくて、最初に一つのテーマを決めて、そのテーマに全部の教科を使って近づいていくというやり方だった。近くに植物がたくさんあって落ちついた場所だった。

**St.James'Church Kindergarten** 幼稚園では、勉強の様子や施設を見せてもらった。幼稚園の先生を目指している人の研修生も多く来ている学校で、学校についてのプレゼンテーションをしてもらった時も講義一回分くらいの内容の多さだった。学校の周りの自然も含めて子供がいろんなことを学べる環境を作ることを大事にしている、直接目に見えない部分から、問題を見つけてほしいそうだ。仮装パーティに使う衣装も、子供がデザインして作ったものだと聞いて驚いた。

Little Skool House ここでは、プロジェクト形式（自分たちで気になることを考えて解決する）と読解力に力を入れているらしかった。この保育園では、子供と交流会をした。日本から持ってきた絵本を読んだり、日本の幼稚園でやる遊びを一緒にやるという内容だった。凄いと思ったのは子供の理解力で、初めて読む絵本の流れを読みながら理解していて、知らないはずの遊びもすぐに覚えてしまっていた。さすが読解力を鍛えているだけあると思った。

4つの学校を見て共通していたことは、知りたいと思ったことは子供が考えて先生は子供の手伝いだけをするという姿勢だった。僕が小学校に行っていた時は先生は何でも知っていて、僕達は頭に教科書の中身が全部入っていることがゴールだったように思う。シンガポールで見た教育では、教科書の知識の使い方を子供に考えてもらっている気がした。勉強して教科書と同じ知識を持っていても、解決したい問題が無いと意味ないと思う。すごく良い考え方だと思うが、今回見た学校はシンガポールの学校の中でも最先端の学校なので、全部の学校が日本と違う訳ではないと思う。でも、変化するのが大好きなところがシンガポールの国民性だそうなので、似た様な方針の学校はすぐに増えると思う。



- ・ 文化などについて

シンガポールはとても暑かった。温度自体はそこまで耐えられない程ではなかった。それでも、太陽が近いことと湿度もあって外を歩くと体力がどんどん無くなっていく気が

した。

シンガポールは色々な民族の人がいて宗教の違いもある。だから食べ物は本当に種類が多かった。日本だとだいたいどんな料理でも日本人向けに作られている。シンガポールでは屋台でご飯を食べることが多かったが、中華料理は中華料理、インド料理はインド料理といったふうにそれぞれ屋台も独立していた。文化が同化せずに共存しているのが面白いと思った。日本にいと周りの人が自分と似ている人間なのでほんの少しの違いでも気になってしまうことがある。シンガポールでは服装とか髪型も色んな人がいて、それが普通なので誰も気にしないんだと思う。



#### ・わかったこと

今回の目的は子供達がどんな顔で学校に通っているかを調べることだった。学力がすごい国だと聞いていたのでみんな真顔で勉強しかしていないのかと思っていた。実際どうだったかというと子供は普通に子供らしかった。世界一学力が高いというのは子供が勉強出来る環境づくりに世界一力を入れているということで、僕が思っていたような厳

しさではなかった。今回分かったことは同じ名前のものでも形が一つじゃないということだった。学校にしてもそうだし、建物も日本ではたとえ地震に堪えられる設計だったとしても絶対に建てられないだろうというようなすごいデザインの建物がたくさんあった。形にこだわらなければ問題を解決するためにいろんな手段を考えられて良いと思



う。

- ・ 今回の研修について

今回は教育がテーマということで話についていけるか不安だった。実際難しい話もあったが、いくつかの学校で繰り返し出てくる内容もあったのでなんとか理解出来た。シンガポールは店が集中していて買い物をする機会も多かったのも多かったので英語を使う場面も多かった。

- ・ 最後に

今回の研修は現地コーディネーターをしてくれた **Tamaki** さん、シンガポールの先生方、北翔の先生達、多くの人のおかげでできた研修だったと思います。学生の皆も一緒に行けて楽しかったです。ありがとうございました。